

令和8年(2026年)4月20日	
所 属	デジタル推進課
所属長	田中 秀幸
電 話	06-6489-6202

## “行政向け AI 界のイノベーター連携による DX 加速をめざして” Polimill 社と連携協定締結の実施 & 「あまがさき AI 利活用アクションプラン」策定

尼崎市は、生成 AI の本格的な利活用に向け、「あまがさき AI 利活用アクションプラン」を策定するとともに、推進リーダーとして杉原デジタル政策監を CAIO（最高 AI 責任者）に任命しました。加えて、行政向け生成 AI サービスでトップを走る Polimill 株式会社と **中核市初となる連携協定** を結び、最初の事業として **近隣市を招いた生成 AI セミナー** を開催いたします。

### 1. Polimill 社との連携協定締結式

- 日 時：令和8年(2026年)4月24日(金)13時～13時30分
- 会 場：尼崎市役所 本庁舎2階 市長室
- 出席者：尼崎市 市長 松本 眞  
尼崎市 副市長 吹野 順次  
尼崎市 デジタル政策監 杉原 薫子  
尼崎市 デジタル戦略部長 田中 秀幸  
Polimill 社 代表取締役 COO 谷口 野乃花氏  
Polimill 社 ビジヨナリー・エバンジェリスト Julian Brody 氏  
Polimill 社 行政 DX サポートプランナー 森田 智氏

### 2. QommonsAI セミナー

- 日 時：令和8年(2026年)4月24日(金)15時～17時30分
- 会 場：尼崎市 市政情報センター1階
- 住 所：兵庫県尼崎市東七松町1丁目5-20

### 3. 目的

同社が提供する行政向け生成 AI サービス **QommonsAI** の更なる活用による業務効率化に向けて、連携協定を締結します。本協定を起点に、新機能の検討や実証実験に加え、人材育成や業務改革に関するノウハウ共有を進めます。また、最初の連携事業として、協定締結の後に、**近隣市を招いた QommonsAI セミナー** を開催します(4/17時点で、1県5市の申込)

※Polimill 社の HP : [Polimill 株式会社](#)

※Polimill 社の直近プレス : [650 自治体が選んだ行政 AI 「QommonsAI」の Polimill、シリーズ A で総額 6.35 億円を調達](#)

### 4. 「あまがさき AI 利活用アクションプラン(※1)」の策定

市の AI 利活用を抜本的に進めることを目的に、**全国でも数少ない AI に関する実行計画** を策定するとともに、その推進リーダー(CAIO)として本市のデジタル政策監を任命しました。本プランは、「あまがさき共創 DX プラン 2.0(※2)」の下位計画に位置し、単なる AI 導入ではなく、その **利活用とプロセス改革に重点** を置き、目標値(KPI)の設定も行った点

が特徴となっています。具体的には、AIの**アクティブ利用課を100%**にするとともに、**全庁共通業務の全てに対してプロセス改革**を進めていきます。

(一部抜粋)

## 2-1. 5つの主要取組



冒頭に掲げた目指す姿の実現に向けて、以下の主要取組を実施する。単なる汎用型AIの導入に留まらず、**業務改革を優先的に行いながら、先進的なAIの導入や内製化にもチャレンジする。**

	主要取組	基本方針	アクション
 業務改革 (X)	①個人レベル	全職員のAIスキル・リテラシー向上に向けて、 <b>実践型の研修や、サポート環境を整備する</b>	<input type="checkbox"/> 実践型研修の実施（役職別） <input type="checkbox"/> AIスキルアセスメントの実施 <input type="checkbox"/> 出張サポート・ヘルプデスクの設置
	②組織レベル	CAIO、および組織横断のAI推進会議を設置し、 <b>AIを前提とした業務プロセスにアップデートする</b>	<input type="checkbox"/> CAIO・AI推進会議の設置 <input type="checkbox"/> 共通業務のプロセス改革 <input type="checkbox"/> AIガイドライン等の改定
 AI導入 (D)	③汎用型AI	全職員に優秀なAIパートナーを配備し、 <b>全ネットワーク（3層）での導入を目指す</b>	<input type="checkbox"/> インターネット系・LGWAN系における新AIの導入（4000アカウント） <input type="checkbox"/> マイナンバー系におけるAI導入検討
	④特化型AI	個別業務に特化したAIを、デジタル部門の支援を受けて <b>各局が調達する</b>	<input type="checkbox"/> 特化型AIの情報提供（デジタル部門） <input type="checkbox"/> 特化型AIの導入検討（各局）
	⑤内製型AI	本市にフィットした柔軟性の高いAIを、 <b>デジタル部門が中心となって開発する（PoC）</b>	<input type="checkbox"/> 内製プラットフォームの導入 <input type="checkbox"/> AIアプリケーションの内製

14

※1. あまがさき AI 利活用アクションプラン（全文）

[https://www.city.amagasaki.hyogo.jp/shisei/si\\_kangae/si\\_keikaku/1043351.html](https://www.city.amagasaki.hyogo.jp/shisei/si_kangae/si_keikaku/1043351.html)

※2. あまがさき共創DXプラン

[https://www.city.amagasaki.hyogo.jp/shisei/si\\_kangae/si\\_keikaku/1035658.html](https://www.city.amagasaki.hyogo.jp/shisei/si_kangae/si_keikaku/1035658.html)

以上

# あまがさきAI利活用アクションプラン (R8年度版)

令和8年（2026年） 4月

1. 目指す姿・現状
2. 5つの主要取組・3つの中間KPI
3. 各取組の概要

## ◆ 本プランの策定目的

本市がDXをより効率的に進めるには、昨今急激な進化を遂げる**AI技術**の活用が不可欠である。本プランは、**あまがさき共創DXプラン**の下位計画に位置し、AI利活用の具体的なアクションを定めることで、本市を**AI先進市**へと移行させるためのものである。

## ◆ 本プランにおけるAIの分類

### 汎用型AI



チャット形式で指示を与えて、テキスト・画像・動画などを生成するAI

- 主なサービス
  - ✓ ChatGPT (OpenAI社)
  - ✓ Gemini (Google社)
  - ✓ Claude (Anthropic社)

### 業務特化型AI



個別業務に特化した専門的なAI (独自の学習データやロジックを保持)

- 主なサービス
  - ✓ 音声文字起こしAI
  - ✓ 電話対応AI
  - ✓ インフラ画像解析AI

### 内製型AI



専用のノーコードツールで作成されたAI (汎用型AIを独自にカスタマイズする)

- 主なノーコードツール
  - ✓ Dify
  - ✓ Copilot Studio
  - ✓ Vertex AI Agent Builder

# 1. 目指す姿・現状

# 1-1. AI利活用の目指す姿

まずは、本プランの策定をもって、本市におけるAI利活用の目指す姿を定義する。

## 目指す姿

市民サービス向上・業務効率化に向けて、全職員がAIを安全に使いこなし、業務プロセスをAI前提にアップデートすることで、**自他ともに認めるAI先進市**になる

## 目標値（DXプラン2.0より）

業務改善時間	20,000時間/年 ※AIに限らない	(R6実績 : 約15,000時間/年)
生成AI利用回数	<b>700,000回/年</b> ※3000人が1日1回利用	(R7実績見込 : 約100,000回/年)

※より解像度の高いPDCAを回すべく、本プランをもって“中間KPI”の設定を行う（後述）

# 1-2. AIの社会動向 (AI年表)



以下に、R7年度の主要なAIイベントを整理（時期はおおよそ）。急速な技術進化だけでなく、**国による制度設計・推進活動が本格化している**。また、**総務省の調査**によると「個人におけるAI利用率」も昨年から**約3倍**となっている。

	過去	R7 (2025)							
		1Q		2Q		3Q		4Q	
技術トレンド	AI 生成AI RAG ChatGPT Gemini, Claude DeepSeek	画像生成	ガバメントAI (源内)	AI エージェント	動画生成	AI-Ready	ソブリンAI	フィジカルAI エッジAI	
国	一部府省庁で ガイドライン策定	各府省庁に CAIO設置	AI法成立	自治体での CAIO設置推奨	自治体向け AIガイドブック策定	人工知能 基本計画	国会答弁に AI試行決定		
NATS	AI電話対応 AIチャットボット 戸籍書籍検索AI (吹田市)	AI-OCR (吹田市、豊中市)	子育て相談 チャットボット (豊中市)	保育データの AI分析 (豊中市)	東大院と 連携協定 (西宮市)				
本市	入所判定AI AI相談システム 文字起こしAI	生成AI実証 ガイドライン策定	生成AI 本格導入	児童相談 音声マイニング 導入決定	児童相談 チャットボット 実証決定	AI-OCR 導入	AIオンデマンド交通 実証実験		

# 1-3. 【参考】人工知能基本計画（R7.12.23）



内閣府の人工知能戦略本部によって、[人工知能基本計画](#)が策定された。

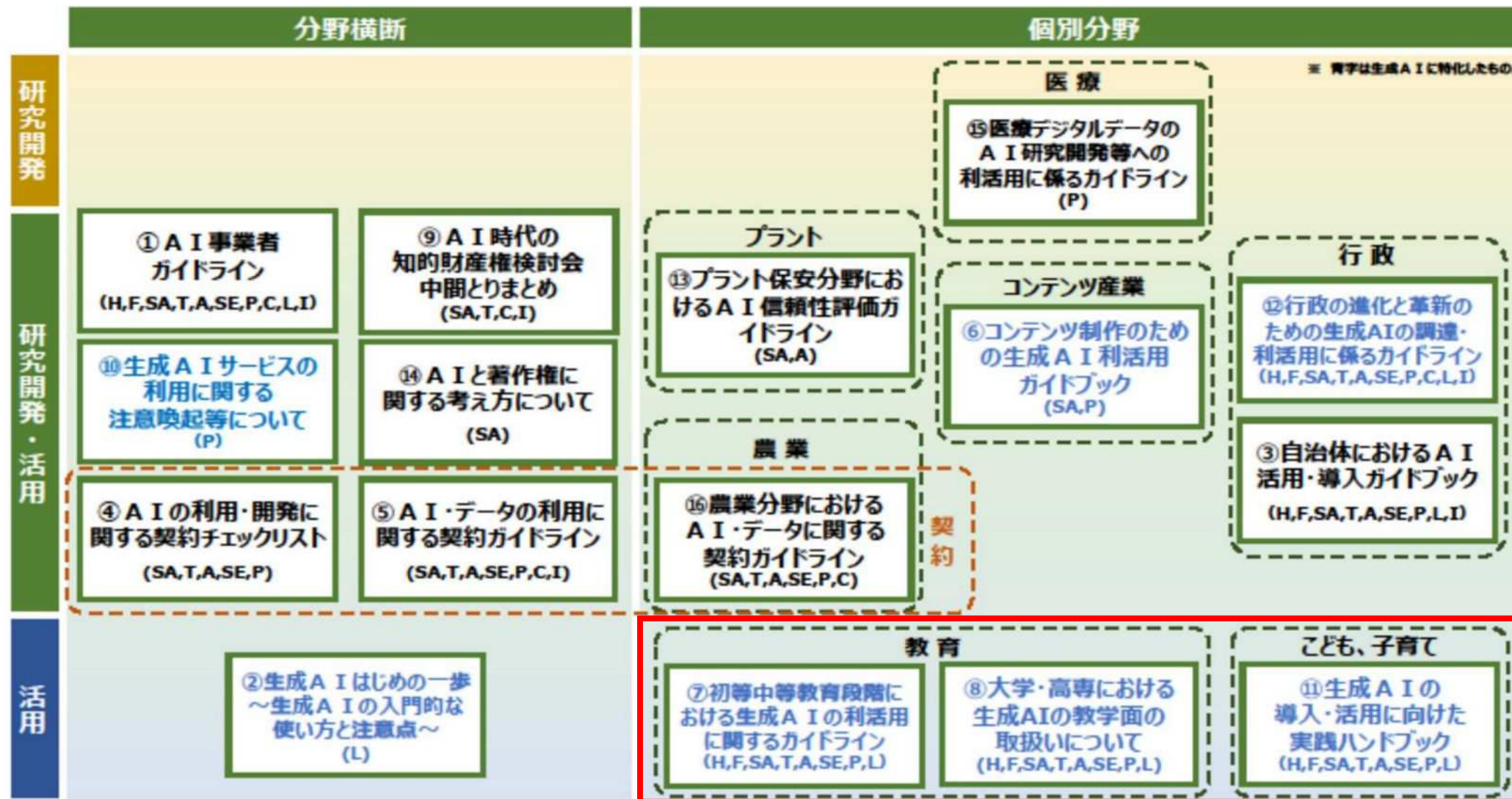
## 具体的な取組（抜粋） ※概要版\_AI利活用の加速的推進（AIを使う）より

- **まず使ってみるという意識**を広く社会に醸成。  
利活用の阻害要因であるAIによる**効果やリスクへの理解不足等の解消**に努める。
- 政府による適正な調達・利活用を先導し、AIの信頼性・透明性を確保。  
**地方自治体**の持続的な行政サービスに向けた、**AI導入環境の整備**
- 地方創生、経済再生及び国民生活の質の向上に資するAI利活用を促すため、  
**AI利活用を前提に既存の規制や制度の見直し**を先導的に推進。
- AIの徹底した利活用や性能向上のため、**データの集積・利活用**、特に組織を越えたデータの共有及び官民連携によるデータ利活用を促進。データの安全性確保を図ることを含めて、戦略的に推進。

市民の個人利用も当たり前になりつつある中、  
行政が先導してリテラシーを身に着ける必要がある

# 1-4. 【参考】各府省庁のガイドライン一覧

国では内閣府・デジタル庁が中心となってAI活用を推進しているが、各府省庁でも様々なガイドラインが策定されている。特に図右下（赤枠）のものは、業務に即したユースケースが掲載されており、**関係局は是非一読いただきたい。**



【出典】人工知能関連技術の研究開発及び活用の適性確保に関する指針 - 科学技術・イノベーション - 内閣府

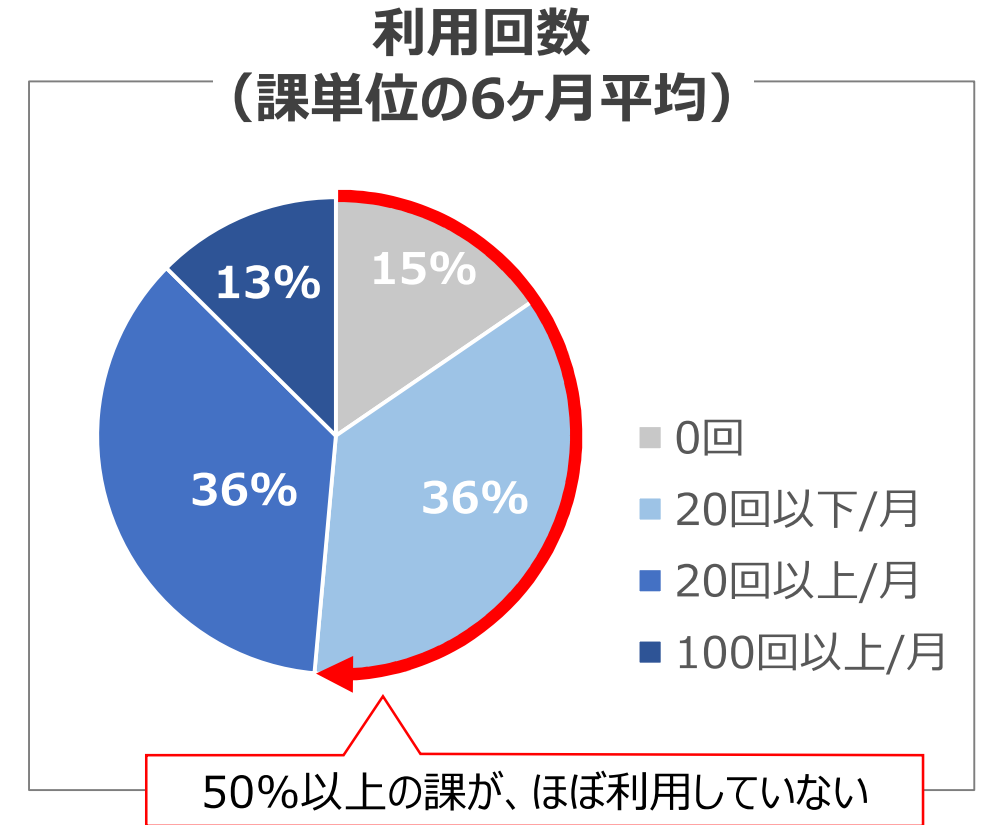
# 1-5. 汎用型AIの現状（本市）

続いて、本市および他都市のAI活用状況を共有する。

## ◆ 汎用型AIの利用状況 ※R7年度に本格導入

当初の事業目標は既に達成済だが、D・Xの両面で課題あり

- ✓ (X)  
DX推進員向けの研修や、生成AI通信の隔週発行を行っているが、**全庁的な利用率は、まだまだ低い**（右図の通り、二極化している）
- ✓ (X)  
積極的に活用している職員もいるが、AIを前提とした全庁的なプロセス改革は行えておらず、活用範囲が**個人レベルに留まっている**
- ✓ (D)  
導入しているAIサービスについても、**市場の中で後れを取っている**  
※実証当初は先進的なものだったが、他サービスの進化が著しい

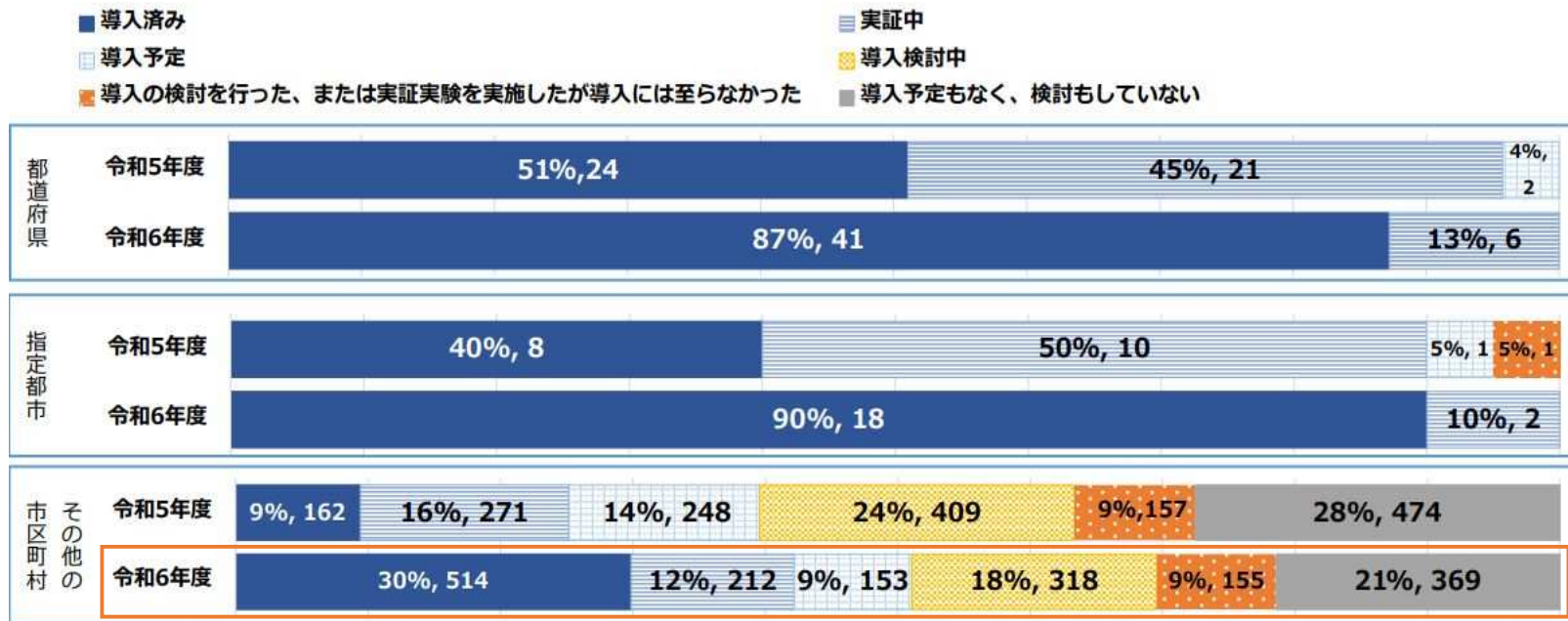


使いやすいサービス環境を整えながら、**「まずは使ってみる」**という風土醸成・人材育成を行う必要がある

# 1-6. 汎用型AIの現状（他都市）

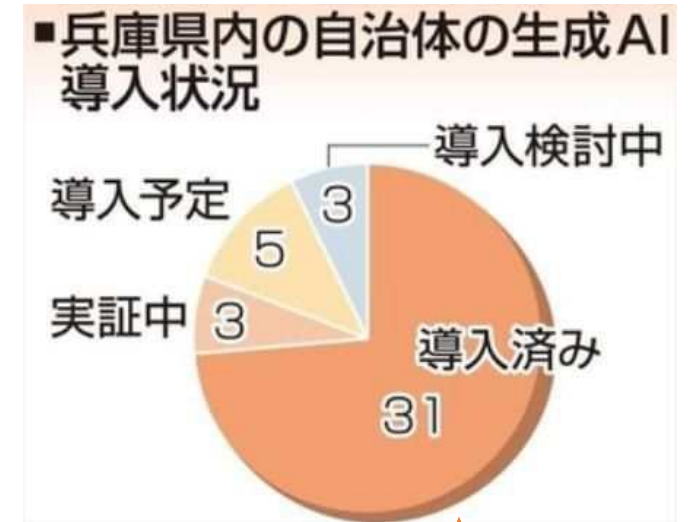
総務省の調査（R6）によると、R6年度時点で生成AIを導入済・予定・実証中の割合は、都道府県・政令市で100%、市区町村では**51%**となっている。また、[神戸新聞の調査（R7）](#)によると、県内での同様の割合が**90%以上**となっている。

## 【全国】



導入済・予定・実証中が51%

## 【県内】



同様の割合が90%以上

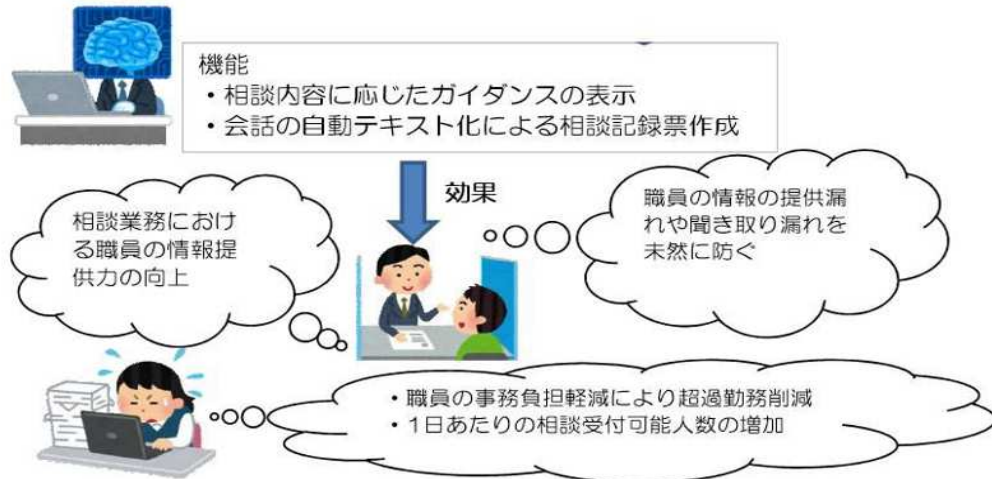
AIは既に自治体の標準装備となっており、  
 今後は、AIを前提としたプロセス改革が焦点となる

# 1-7. 業務特化型AIの現状（本市）

専門性の高い業務特化型AIは、各局で導入が進められており、市民サービス向上・業務効率化の両面で活用が進んでいる。ただし、市場のソリューション数を踏まえると、全庁的な導入数は**まだ少ない状況**。

## 市民サービス向上系

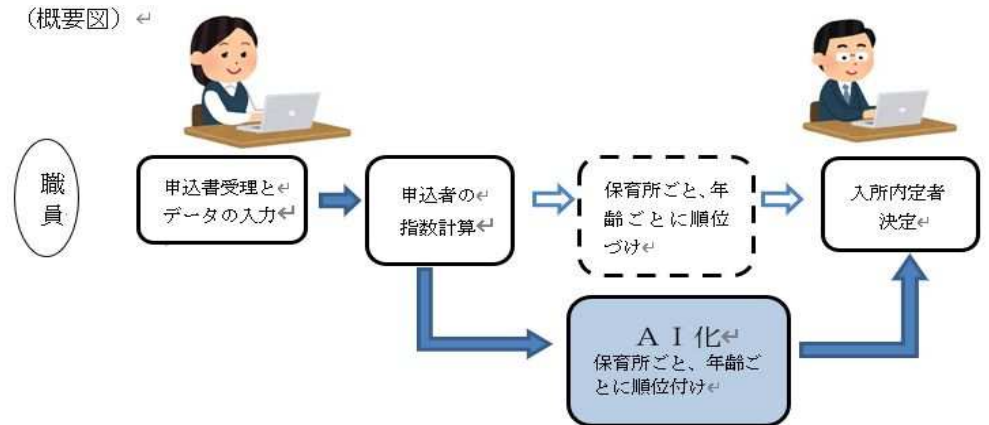
### 相談支援AI



## 業務効率化系

作業時間：▲390h（1課） ※実績値

### 入所判定AI



### AIオンデマンド型交通

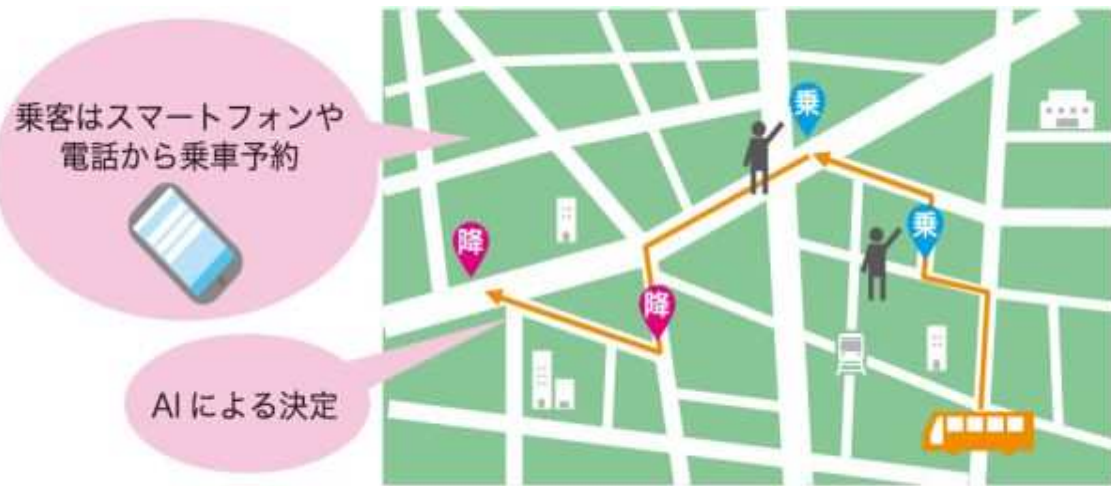
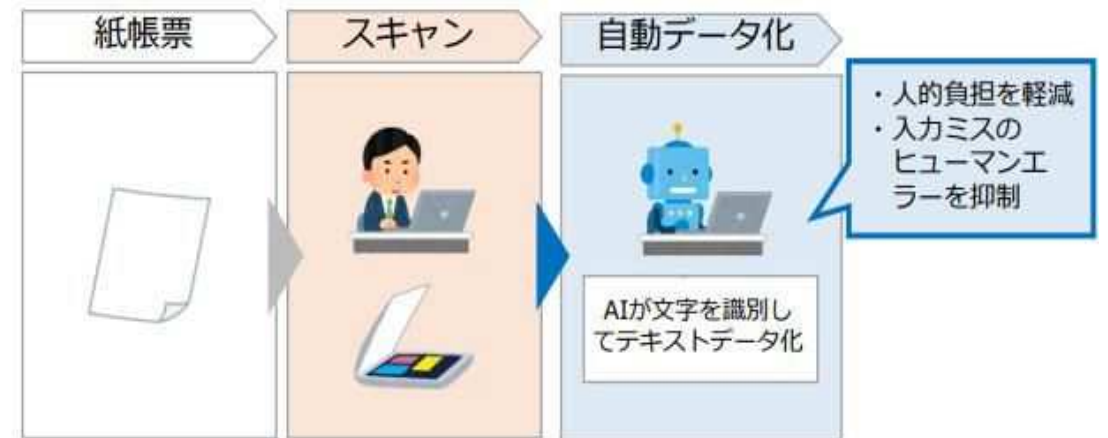


図 AIオンデマンド型交通イメージ（国土交通省）

データ入力時間：▲4,200h(10課) ※実証実験の理論値

### AI OCR



# 1-8. 業務特化型AIの現状（他都市）



総務省のAI導入ガイドブックで他都市の事例が様々掲載されているため、**関係局は是非一読いただきたい。**

分野横断 ・窓口業務	•AIを活用した申請受付・審査支援システム【戸田市他】	情報化・ICT (文書管理・ 調査)	•AIリアルタイム議事録【青森県】	
	•AIを活用した総合案内サービス【愛知県内39市町村】		•AI-OCRによる行政文書の読取・データ化【つくば市】	
	•AIを活用したごみ出しに関する自動電話音声対応【守口市】		•AIを活用した音声テキスト化サービス【埼玉県内19市町】	
	•AIを活用した窓口での音声の文字表示システム【防府市】		•庁内会議における議事録作成【港区他】	
児童福祉・ 子育て	•AIによる保育所入所選考の自動化【さいたま市】		•職員からのICT関連の問合せに関するナレッジ管理へのAIの活用【長崎県】	
	•AIを活用した児童虐待対応支援システム【三重県】		•各種統計データの傾向分析	
健康・医療	•AIを活用した特定健康診査受診率向上事業【宇都宮市】		•AIを活用した指定管理者制度への問い合わせ対応【政令指定都市】	
	•市民の健康管理の手助けにAIを活用【神戸市】		•ごみの分別について、住民等からの問合せに自動回答【横浜市等】	
職員・税務・戸籍 (行政改革含む)	•固定資産税の課税客体把握事務における航空写真AI解析クラウド実証【前橋市他】		生活環境	•ゴミ収集車の撮影画像からごみ排出量を自動排出【藤沢市】
	•AIを活用した住民税の賦課修正業務の効率化実証【練馬区他】			観光
	•未納者への催告業務におけるAI活用【川崎市】	•観光窓口への質問に対する自動応答【姫路市】		
	•AIによる職員業務実態の分析・可視化【宝塚市】	公共交通	•市周辺の公共交通について、住民等からの問合せに自動回答【札幌市】	
福祉・介護	•AIを活用した介護予防【いわき市】		•AIを活用した公共交通オンデマンドバス【喜多方市】	
	•AI活用に向けた民間事業者へのデータ提供【市川市】		•公共施設マネジメントに関わる意見やニーズ把握に向けた、住民等と対話形式アンケートの自動実施【新潟市】	
	•IoT機器と連携した高齢者見守り支援【西条市】	•AIオンデマンド乗合タクシー【荒尾市】		
公共施設・ インフラ		•AIを活用した道路管理システム【千葉市】		
		•自動車走行取得データ等を分析し、道路における潜在的な危険箇所を把握【豊橋市】		
		•AIを活用した漏水箇所検知【豊田市】		
学校教育・ 青少年育成		•学校に関する質問・相談に自動回答【塩尻市】		

市民ニーズや業務課題を前提としつつ、**シーズ（技術）** 起点の検討も加えながら、効率的に進める必要がある

## 2. 5つの主要取組・3つの中間KPI

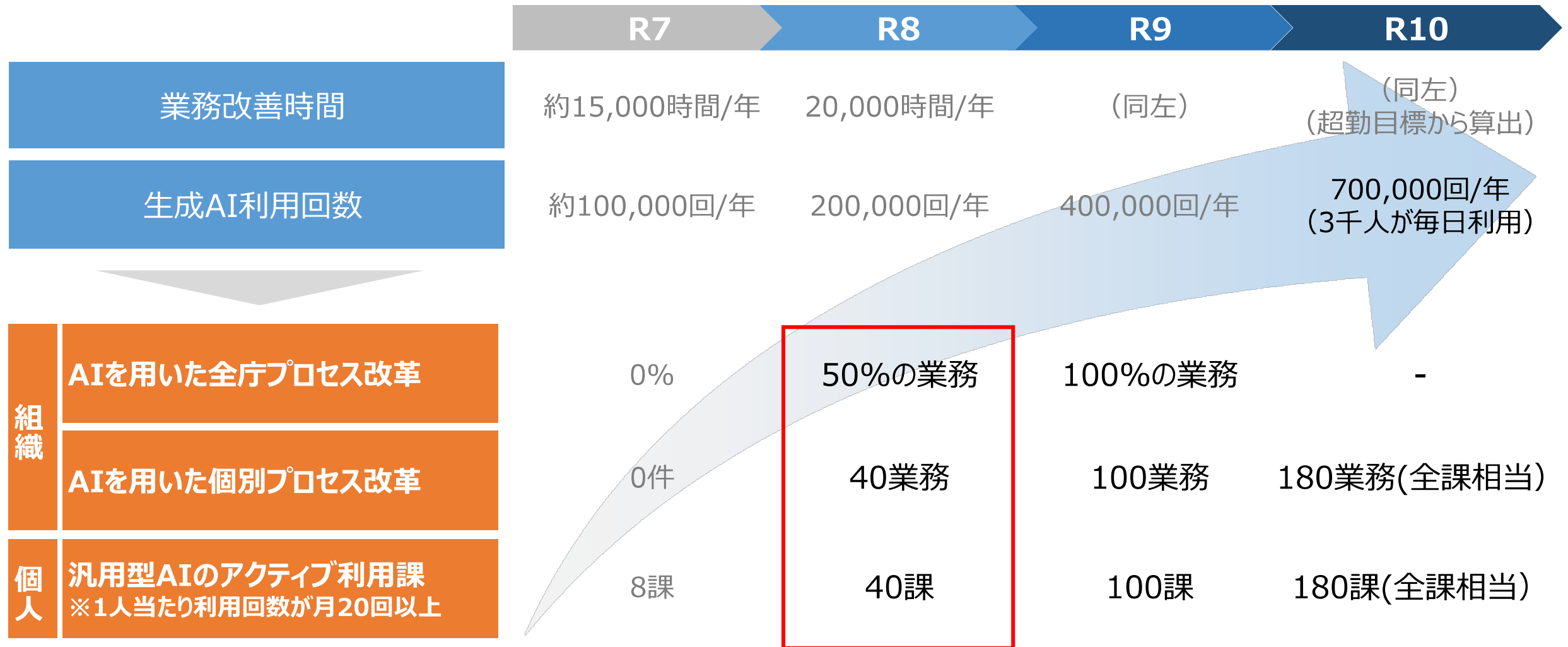
# 2-1. 5つの主要取組

冒頭に掲げた目指す姿の実現に向けて、以下の主要取組を実施する。単なる汎用型AIの導入に留まらず、**業務改革を優先的に行いながら**、先進的なAIの導入や内製化にもチャレンジする。

	主要取組	基本方針	アクション
<p><b>業務改革 (X)</b></p>	① 個人レベル	全職員のAIスキル・リテラシー向上に向けて、 <b>実践型の研修や、サポート環境を整備する</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 実践型研修の実施（役職別）</li> <li>□ AIスキルアセスメントの実施</li> <li>□ 出張サポート・ヘルプデスクの設置</li> </ul>
	② 組織レベル	CAIO、および組織横断のAI推進会議を設置し、 <b>AIを前提とした業務プロセスにアップデートする</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ CAIO・AI推進会議の設置</li> <li>□ 共通業務のプロセス改革</li> <li>□ AIガイドライン等の改定</li> </ul>
<p><b>AI導入 (D)</b></p>	③ 汎用型AI	全職員に優秀なAIパートナーを配備し、 <b>全ネットワーク（3層）での導入を目指す</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ インターネット系・LGWAN系における新AIの導入（4000アカウント）</li> <li>□ マイナンバー系におけるAI導入検討</li> </ul>
	④ 特化型AI	個別業務に特化したAIを、デジタル部門の支援を受けて <b>各局が調達する</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 特化型AIの情報提供（デジタル部門）</li> <li>□ 特化型AIの導入検討（各局）</li> </ul>
	⑤ 内製型AI	本市にフィットした柔軟性の高いAIを、 <b>デジタル部門が中心となって開発する（PoC）</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 内製プラットフォームの導入</li> <li>□ AIアプリケーションの内製</li> </ul>

## 2-2. 3つの中間KPI

前述の主要取組を踏まえて、DXプランのKPIよりも解像度の高い**中間KPI**を設定する。  
**プロセス改革に重きを置き**、一部の部署だけがAIを使うのではなく、全部署の利活用を底上げする目標とする。



## 3. 各取組の概要

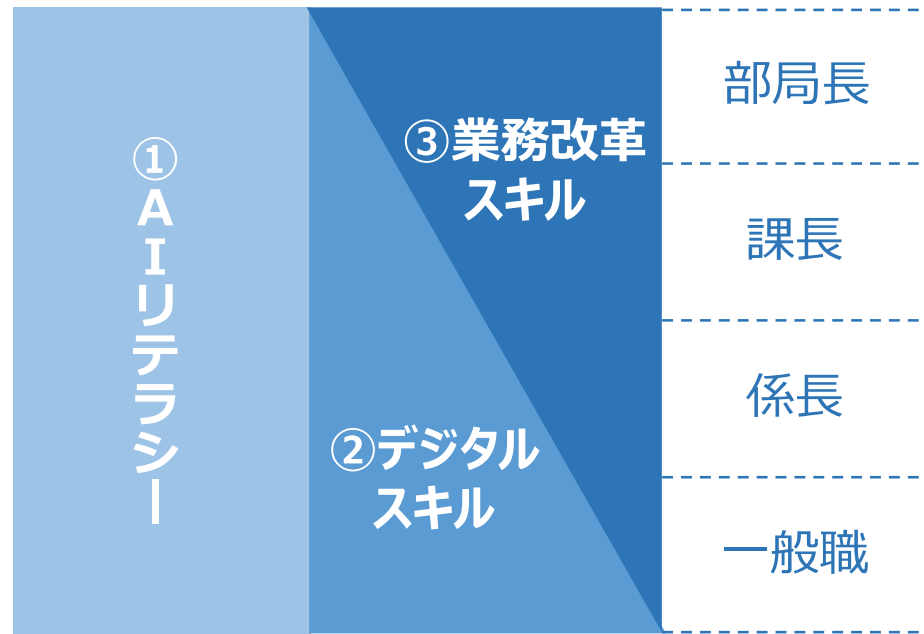
# 3-1. 業務改革（個人レベル）の取組



目指す姿の実現に向けて、**まずは人材育成**を取り組み、全職員がAIの利便性とリスクを理解・コントロールする力を身に着ける。AIは、kintoneやRPAのように一部の職員が使うものではなく、**WordやExcelのように**PCを使う全職員の基本スキルとなっていく。

全職員がAIを安全に使いこなす

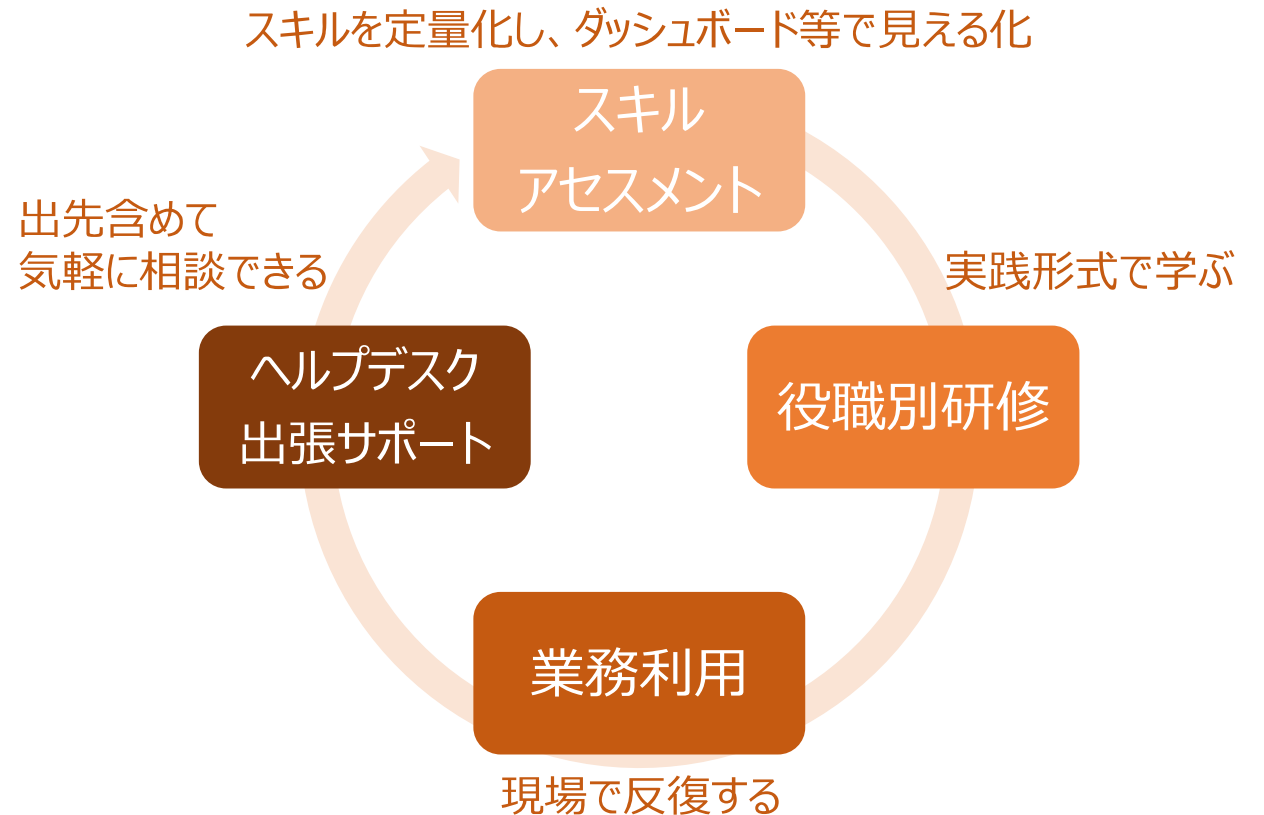
【ゴール】  
役職別のスキル習得



+

DX推進員は、より高度なスキル習得を目指す

【プロセス】  
成長サイクルを回す仕組み



## 3-2. 業務改革（組織レベル）の取組

前述の人材育成に加え、**組織レベルの業務改革・制度の見直し**を行うことで、AI利活用を更に加速させる。  
また、改革を効率的に進めるべく、CAIO（補佐官含む）とAI推進会議の設置を行う。

### AI前提の業務プロセスにアップデート

#### 【ゴール】 組織横断でのDX推進

##### プロセス改革

- 文書作成、決裁
- 会議
- 国や県からの通知・照会対応
- 庁内問合せ
- 予算要求  
など



##### 機運醸成

- KPIの進捗管理
- 庁内におけるAI情報の流通量UP

#### 【プロセス】

#### リーダー・会議体の設置（R7年度中）

##### CAIO

- 【CAIO】本市におけるAIの利活用・リスク管理における責任者  
⇒ デジタル政策監
- 【CAIO補佐官】CAIOのマネジメントを専門的な知見から補佐する人材  
⇒ デジタル戦略部長

##### AI推進会議

- DX推進会議の**専門部会**として、以下のような活動を行う
- ✓ AI起点の業務改革に関する議論
- ✓ 各種KPIの進捗管理
- ✓ その他AIに関する情報共有

#### 【メンバー】

- ・ 部会長（副部会長）：デジタル政策監（デジタル戦略部長）
- ・ 専属委員：各局室の企画管理課長
- ・ 事務局：デジタル推進課

#### 【開催時期】

企画管理課長会のぶら下がりでの実施

# 3-3. 汎用型AIの取組



汎用型AI（いわゆる生成AI）については、**マイナンバー系を含む3層ネットワーク**での配備を検討し、機密情報を扱う部署についても、AIのサポートが受けられるようにする。

## ユースケース例

## 導入ロードマップ

		導入ロードマップ		
		R7	R8	R9以降
インターネット系	オープンデータ	生成AI導入 (課で1アカウント)		
LGWAN系	個人情報 機密情報		新AI導入 (個人アカウント)	機能拡充
マイナンバー系	基幹系データ (マイナンバー)			新AI導入

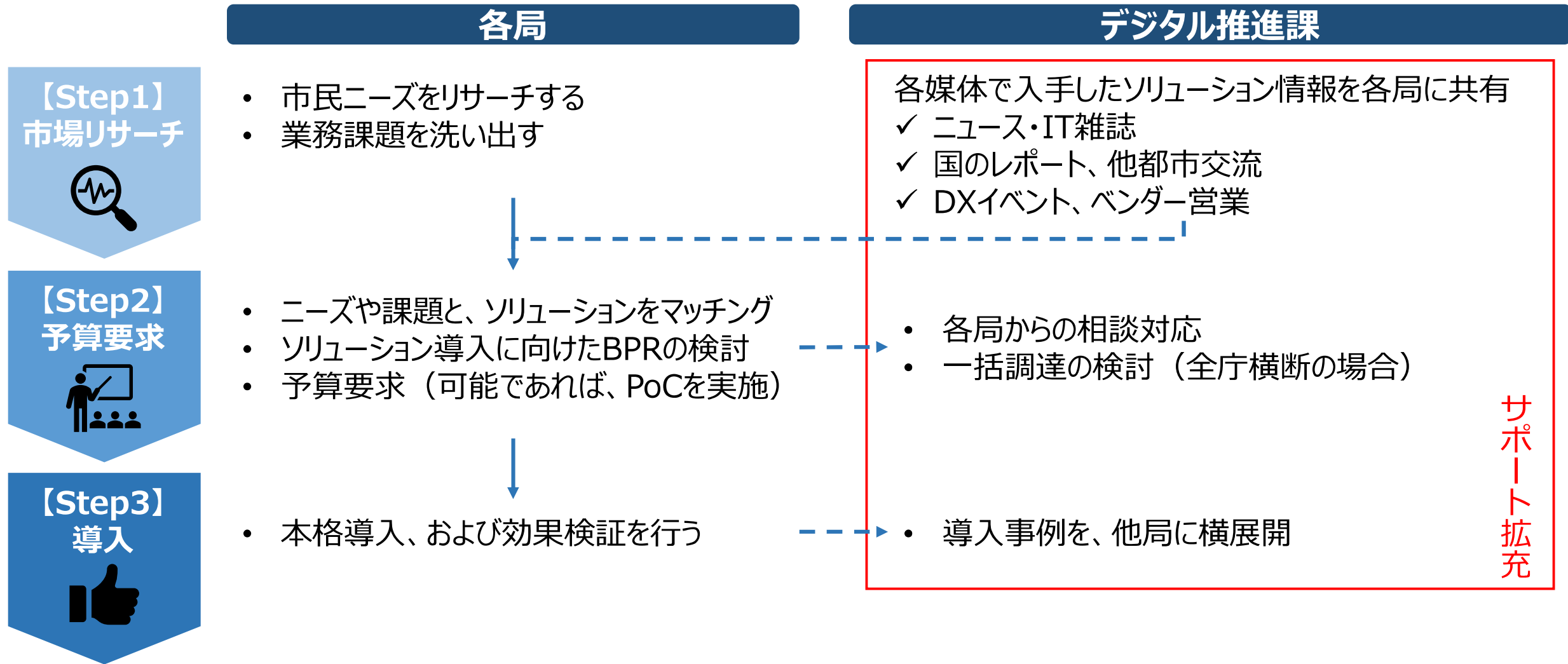
- ✓ 通知文、市民対応の素案作成
  - ✓ 議会答弁の素案作成
  - ✓ 企画・プレゼン資料の素案作成
  - ✓ 法令・他都市事例の検索
- 
- ✓ 個人情報が含まれるアンケートの分析
  - ✓ 人事・採用データの分析
  - ✓ オンライン申請、eLTax等のデータ分析
- 
- ✓ 手続申請データの自動チェック
  - ✓ 相談業務の音声文字起こし・要約
  - ✓ 基幹データ（住民情報、税情報など）の分析

# 3-4. 特化型AIの取組



特化型AIについては、デジタル部門からの**情報提供**や**相談対応**などのサポートを拡充することで、検討量の増加を狙う。  
※各局にて企画立案・予算要求を行うことは従来通り

## 特化型AIの導入フロー



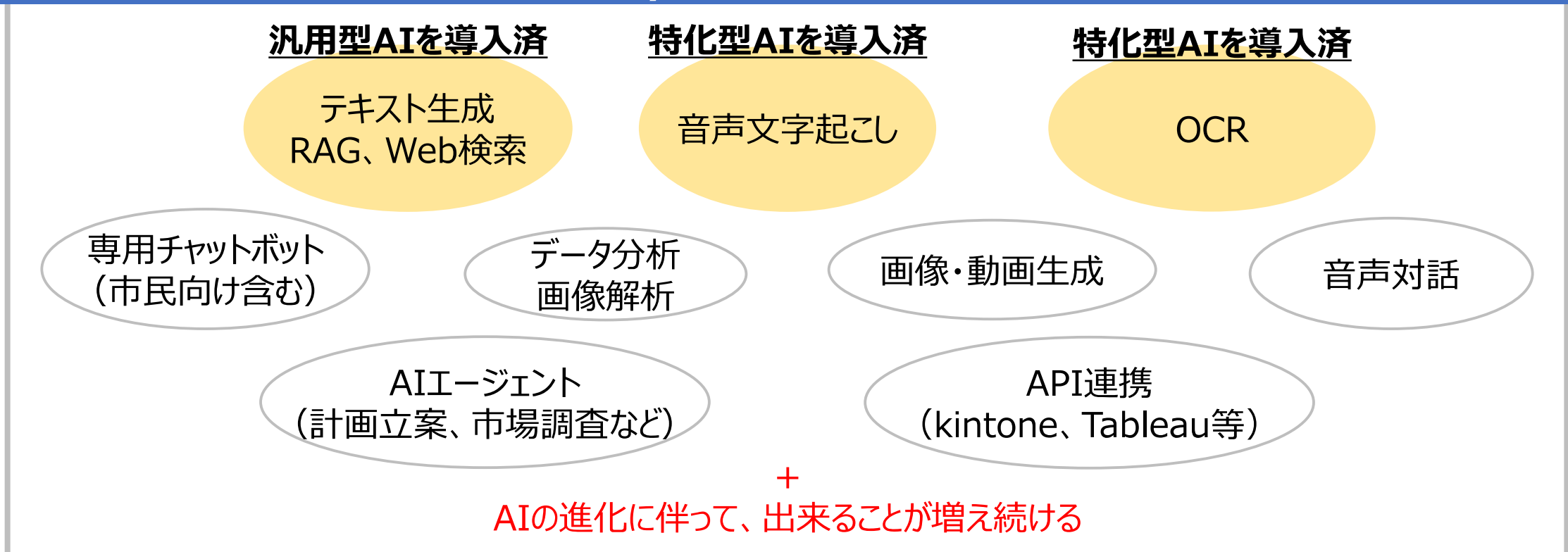
サポート拡充

# 3-5. 内製型AIの取組

## AIアプリ開発ツール (Dify) について

- プログラミング無しで独自のAIアプリを内製することができる、**ノーコードプラットフォーム** (LangGenius社より、R5年度にリリース) 各種AIや外部ツールを自由に組み合わせることで、**現場のニーズに合わせたAIアプリをスピーディに開発できる**
- 企業などでは導入が進んでおり、メジャーツールとして認知されている (博報堂グループ、日本赤十字社、東京大学などが導入)
- R7.9月に「一般社団法人Dify協会」が設立された (設立者: LangGenius、NTTデータ、日本電子計算)

### Difyで実装できる機能例



## 3-6. 内製型AIの取組（開発アプリ例）



Difyによって以下のようなアプリケーションが作成可能と考えられるが、**非常にチャレンジングな取組**であるため、アジャイル開発を前提に、**スモールスタート**で進めていく。

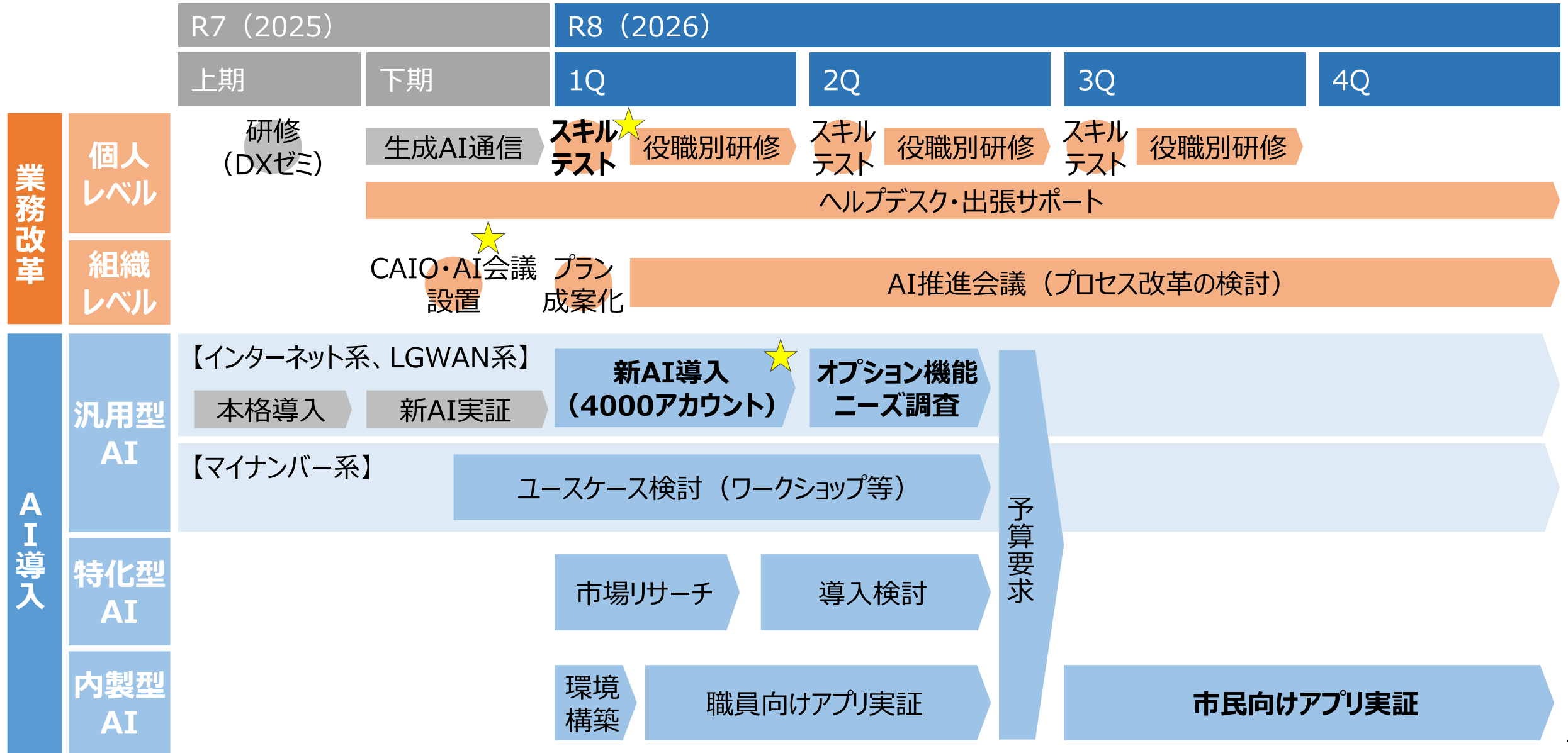
	概要	（現在導入済の汎用型AIの場合）
ニュース収集AI	<ul style="list-style-type: none"><li>職員ごとに必要なニュースを自動収集し、メールで連携</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>メールなどの外部ツールとの連携は不可</li></ul>
庁内チャットボット 市民向けチャットボット	<ul style="list-style-type: none"><li>庁内ドキュメントを登録したうえで、問合せに回答させる 回答できなかったものはkintoneに自動連携し、職員が回答する</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>kintoneなどの外部ツールとの連携は不可</li><li>市民利用は不可</li></ul>
企画サポートAI	<ul style="list-style-type: none"><li>マーケット調査やレポート作成、プレゼン資料作成などを支援 課ごとにリサーチ手法や、参照する課のドキュメントを分けられる ※主に事業系で活用</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>プロンプトで簡易的なことは可能だが、細かいロジック設定は難しい</li></ul>
ナレッジサポートAI	<ul style="list-style-type: none"><li>課内の業務データを蓄積し、職員の意思決定を支援 ※主に窓口系・内部管理系で活用</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>課ごとのカスタマイズは不可</li></ul>
データ分析AI 画像解析AI	<ul style="list-style-type: none"><li>様々なデータを基に、将来推計やモデル最適化を行う</li><li>道路や水道管の画像を読み込ませて、欠損をチェックさせる</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>数学的に高度なデータ分析は非対応</li><li>画像解析は非対応</li></ul>

各課のニーズを聞きながら、  
デジタル推進課がAIアプリを開発していく

# 3-7. 全体スケジュール（イメージ）



全体スケジュールは以下のとおり。AI導入の取組については、予算要求を意識した逆算スケジュールで実施していく。



尼崎市 × Polimill

連携協定  
締結記念

行政向け生成AIサービス

# QommonsAI セミナー

～体験会&意見交換会～

尼崎市は、行政向け生成AIサービス「QommonsAI」を提供するPolimill株式会社と連携協定を締結します。本セミナーは、その第一弾の取組です。

導入済の自治体の皆様には、有料オプション機能の体験を。  
未導入の自治体の皆様には、基本操作を含めたサービス全体の体験機会をご提供します。

年度初めのご多忙の折とは存じますが、ぜひご参加ください。

## コンテンツ



日時 2026年4月24日(金)  
15:00～17:30



場所 尼崎市 市政情報センター 1階  
(兵庫県尼崎市東七松町1丁目5-20)

### ① QommonsAIの紹介・機能研修 (約60分)

QommonsAIの特長や活用事例、基本機能をわかりやすく解説します。

### ② QommonsAIの新機能体験会 (約60分)

有料オプションである、以下のα版を試用できます。

- 補助金対応AI
- 偽情報・誤情報対応AI

### ③ 名刺交換・意見交換会 (約30分)

参加者同士の交流や、情報交換の場としてご活用ください。



QommonsAIは、  
行政シェア No.1  
の生成AIサービスです。

安心のセキュリティ

LGWAN対応・データ学習なし

業務に寄り添う設計

行政専用の機能とプロンプト

豊富な導入実績

全国の自治体で活用中